



増設された児童クラブで勉強する児童ら

地域全体で安心して子育てできるまちを目指して

◎子育て施設の充実

私立幼稚園・保育所や地域保育所などが、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ『認定こども園』へ移行するための支援や、3歳未満児を保育する小規模保育事業などを新たに認可するなど、民間施設の保育環境の整備を支援しています。

また、商店街での空き店舗を活用した保育や、児童クラブの増設など市独自で子育て環境のさらなる充実に取り組んでいます。

◎中学生までの入院費無料化

市内の就学前の子どもの入院・通院医療費を助成する乳幼児医療と小学1年生～中学3年生までの入院費を助成する児童医療からなる「子ども医療費助成」。子育て世代の経済的負担を和らげるとともに子どもの健全育成と疾病の早期発見・治療につなげます。

だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らす

◎高齢者・障がい者福祉の充実

在宅医療と介護の連携を推進し高齢者への相談・支援体制を強化するとともに、地域包括支援センターに認知症初期集中支援チームを配置するなど、介護や支援を必要とする高齢者や家族が地域で安心して住み続けられる環境づくりに取り組んでいます。また障がい者による古着・廃

ここがいい、加減。

松山人が語る幸せの種



パーソナリティ
やのひろみさん

子育てサポートにより女性が活躍できるまちへ

私は仕事をしながら2人の子どもを育てており、保育園や放課後児童クラブに助けられている市民の一人です。安心して仕事ができるのはもちろんですが、離れている分、一緒にいるときに子どもを抱きしめる力が強くなるように思います。また子ども自身にも社会性が身につくことを先生やお友だちから学ぶことができ、本当にありがたいですね。まさに「社会が子どもを育てる」という状況につながっているな、と感じています。子育ての比重はどうしても女性に偏りがちですが、こうしたサポートにより、女性が活躍できるまちになれるんだと思っています。



「ふれあい・いきいきサロン」で世代間交流

食用油の回収業務など、障がい者の就労を支援しています。

また、高齢者が自主的に介護予防に取り組む「ふれあい・いきいきサロン」を市内各地で推進しています。

安全・安心の医療体制で市民の生命や健康を守る

◎救急医療体制の堅持



松山市急患医療センター

救急医療機関が医師や看護師などの医療従事者を確保するための支援に取り組み、365日24時間の救急医療体制を堅持しています。また毎日夜間に小児急病患者の応急診療を行う「松山市急患医療センター」を運営し、安心して子育てができる環境の充実に取り組んでいます。

1 健康・福祉

健やかで優しさのあるまち